

## 令和2年度事業計画について

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

### 1 事業推進方針

令和2年度は、公益財団法人として、県民の総合的な健康づくりをより一層積極的に推進し、県民の疾病予防、健康の保持・増進に寄与する。

このため、健（検）診・検査事業における精度管理の徹底、県や市町村と連携した健（検）診受診率向上への取組み、豊富な健診情報を元にした調査分析活動への積極的な取組み、より効果の高い啓発活動の展開等を推進する。

### 2 各事業概要

#### (1) 健（検）診・検査事業

##### ① 地域保健

広く県民の受診機会の拡大が図られるよう、県、市町村及び各地区の医療機関と連携を図りながら、各種健（検）診・検査を実施する。

#### 主な健（検）診・検査

(単位：件)

項目	2年度 計画数(A)	元年度 見込数(B)	増減 A-B	30年度 実施数
特定健康診査	23,800	23,000	800	22,532
特定保健指導	360	360	0	471
胸部X線検診(結核検診等)	60,000	60,000	0	66,602
がん検診	100,350	102,600	△ 2,250	102,098
胃がん検診	13,200	13,200	0	13,385
肺がん検診	32,000	32,000	0	32,879
肺がんCT検診	12,800	13,300	△ 500	13,454
大腸がん検診	16,800	16,600	200	15,916
子宮頸がん検診	10,850	11,800	△ 950	11,267
乳がん検診	6,500	7,500	△ 1,000	7,483
前立腺がん検診	8,200	8,200	0	7,714
胃がんリスク検査	2,900	2,900	0	2,092
腹部超音波検診	900	860	40	859
骨粗鬆症検診	1,700	1,600	100	1,973
合計	190,010	191,320	△ 1,310	196,627

## ② 職域保健

職場での健康診断と併せて、その事後措置としての保健指導や運動指導等を実施することにより、勤労者の健康増進に取り組む。

### 主な健（検）診・検査

(単位；件)

項 目	2年度 計画数(A)	元年度 見込数(B)	増減 A-B	30年度 実施数
特定健康診査	620	620	0	550
特定保健指導	740	740	0	556
胸部 X 線検診 (結核検診等)	61,800	60,000	1,800	59,838
一般健康診断 (協会けんぽ含む)	62,000	60,570	1,430	59,414
特殊健康診断	6,268	6,290	△ 22	6,297
指導勧奨による健康診断	2,566	2,345	221	1,931
がん検診	30,230	28,770	1,460	29,354
胃がん検診	11,500	11,100	400	11,115
肺がん検診	380	370	10	342
肺がん C T 検診	850	850	0	901
大腸がん検診	10,900	10,500	400	10,348
子宮頸がん検診	2,800	2,400	400	2,854
乳がん検診	1,900	1,700	200	1,896
前立腺がん検診	1,900	1,850	50	1,898
腹部超音波検診	1,630	1,630	0	1,668
骨粗鬆症検診	580	460	120	548
合 計	166,434	161,425	5,009	160,156

- ・ 一般健康診断 (雇入時・定期・特定業務従事者・給食従事者の検便)
- ・ 特殊健康診断 (じん肺・石綿・有機溶剤・鉛・特定化学物質・電離放射線等)
- ・ 指導勧奨による特殊健康診断 (VDT作業・振動業務等)

### ③ 学校保健

学校保健安全法に基づく結核検診、尿検査、心臓検診に加え、小児生活習慣病予防健診、脊柱側彎症検診などの各種健（検）診・検査事業を実施し、児童、生徒の健全な育成、疾病の早期発見や予防に資する。

(単位；件)

項 目	2年度 計画数(A)	元年度 見込数(B)	増減 A-B	30年度 実施数
結核検診	10,600	10,860	△ 260	11,615
寄生虫卵検査	7,000	7,351	△ 351	9,482
尿検査(腎臓病、糖尿病検査)	105,000	107,000	△ 2,000	108,219
心臓病検診	7,800	8,015	△ 215	8,441
脊柱側彎症検診	10,700	10,937	△ 237	11,111
学校貧血検査	19,000	19,254	△ 254	19,744
小児生活習慣病予防健診	2,600	2,784	△ 184	2,813
合 計	162,700	166,201	△ 3,501	171,425

### ④ 母子保健

新生児マススクリーニング検査において、新生児の先天性代謝異常や内分泌異常の早期発見・早期治療の一層の充実を図る。

令和2年度より、検査対象疾患を拡大し、重症複合型免疫不全症とライソゾーム病の検査を有料事業(個人負担を要する検査)として開始する。

(単位；件)

項 目	2年度 計画数(A)	元年度 見込数(B)	増減 A-B	30年度 実施数
先天性代謝異常等検査	9,500	9,300	△ 200	9,935
重症複合型免疫不全症	5,000	—	5,000	—
ライソゾーム病	5,000	—	5,000	—

### ⑤ 人間ドック

生活習慣病の予防及び疾病の早期発見を目的に、協会の施設や機能を生かした検査内容やコースの設定等、受診者にとって利便性の高い人間ドックの充実を図る。

(単位；件)

項 目	2年度 計画数(A)	元年度 見込数(B)	増減 A-B	30年度 実施数
人間ドック	1,000	950	50	984

## (2) 精度管理の強化

### ① 各種委員会の設置、運営

協会が実施する健康診断、各種検査、保健指導等の各種業務について、その精度を維持・向上を目的とし、健（検）診精度管理委員会及び各種専門委員会を定期的に開催する。

各種専門委員会（9部門）

生活習慣病、結核・肺がん、肺がんCT、乳がん、新生児マススクリーニング、消化器がん、子宮がん、超音波検査、小児保健

### ② がん検診の精度管理

がん検診の精度管理を図るために、検査結果の調査を行い、がん検診の精度に必要な指標の取りまとめを行う。

（平成30年度 協会実施のがん検診の事後管理状況）（単位：人、%）

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
要精検査者数	1,041	254	1,692	280	503
要精検率	4.3	0.7	6.4	2.0	5.4
精検受診率	81.6	89.4	70.0	83.9	91.8
がん発見率	0.07	0.05	0.14	0.04	0.56
陽性反応的中率	1.63	6.69	2.25	1.79	10.53

※令和元年12月末日現在の状況

<参考> 国立がん研究センター（平成28年度）許容値（単位：%）

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
受診率	50.0以上				
要精検率	11.0以下	3.0以下	7.0以下	1.4以下	11.0以下
精検受診率	90.0以上				
がん発見率	0.11以上	0.03以上	0.13以上	0.05以上	0.23以上
陽性反応的中率	1.0以上	1.3以上	1.9以上	4.0以上	2.5以上

### ③ 職員の資質向上

人間ドック学会、日本消化器検診学会、日本医師会、県医師会、日本対がん協会等の上部組織が行う精度管理事業に積極的に参加する。

また、各種技術研修会等へ積極的に職員を派遣し、関係職員の更なる技術向上に努めるとともに、事業を実施していく上で特に必要の高い「胃がん検診専門技師」、「細胞検査士」などの認定資格等の取得を目指す。

### (3) 健康づくり支援

健康寿命の延伸や健康格差の縮小には、本県の健康事情を把握し、生活習慣病の発症予防の徹底を図ることが重要であるため、循環器疾患、がん、糖尿病の予防を中心として、健康づくりの支援を展開する。

#### ① 健診データ解析情報のフィードバック

協会が実施した健診データを解析し、これらの情報を保健所、市町村、職場、学校等にフィードバックすることにより、それぞれの団体の健康課題を明確にするとともに、各団体における健康づくりを支援していく。

#### ② 保健指導の充実及び研修会、教室等の開催

生活習慣病発症予防を目的とした特定保健指導をはじめとする健診後の指導を展開し、個々の生活習慣の改善に繋げていく。

内 容		令和2年度（計画）	元年度（見込）
特定	動機付け支援	540人	540人
	動機付け支援相当	20人	20人
	積極的支援	540人	540人
一般保健指導		100人	100人
講師派遣による健康講話		4,500人（100回）	4,100人（97回）

※健康講話の内容

実施者：医師・保健師・管理栄養士・健康運動指導士

内容：「糖尿病予防」について  
「小児生活習慣病予防」について  
「生活習慣病予防」について  
「がんに関する教育」について  
「簡単にできる運動・肩こり・腰痛予防改善、親子で楽しむ運動」について  
「野菜摂取向上など食生活」について

#### ③ 電話勧奨事業

市町村が実施するがん検診の受診率の向上を図るために、効果があるとされている個別の受診勧奨・再勧奨を実施し、がんの早期発見・早期治療に努める。

#### (4) 普及啓発等

県民が主体的に検診を受診し、生活習慣を改善するなどの積極的な行動を実践するよう、県民に対する啓発活動に取り組む。

##### ① 健康情報の発信

- ・ 協会ホームページの内容を充実し、幅広い層への広報を強化する。
- ・ 広報誌「サンテ宮崎」（年4回：各4千部）の内容をさらに充実し、健康情報の提供に努める。
- ・ テレビ等による情報発信（健康情報番組協力）  
UMK「U-doki」、ケーブルテレビ「きらり健康塾」等

##### ② 講演会や研修会、健康イベント等の開催

- ・ 県民向けの健康講演会や健診体験イベントの開催（Karada Good フェスタ）  
フェスタ開催時に特定健診やがん検診を同時実施する。
- ・ 市町村、職域、学校の健康管理担当者向けの研修会の開催  
（健康づくりセミナー）

##### ③ 他団体との連携による啓発

市町村や他団体が行う健康関連行事と連携し、啓発ブースの設置や検診車の見学等を行い、健診に関する理解を深める啓発を行う。

##### ④ 上部団体（（公財）結核予防会、（公財）日本対がん協会）と連携した広報啓発

- ・ 結核予防週間（9月下旬）及び複十字シール運動（8月～12月）  
結核や胸部の疾患の予防、早期発見・早期治療を訴える街頭キャンペーン等を、事業パートナーである宮崎県健康増進婦人の会と協力して実施する。  
また、キャンペーンと併せて、結核等の予防啓発事業等に活用するための複十字シール募金活動を行う。

（募金目標額 2,200千円；令和元年度見込 1,468千円）

- ・ がん征圧月間（9月）

県内3カ所で街頭キャンペーンを開催するとともに、県民向けにテレビや新聞等で啓発を行う。また、市町村、学校、事業所に啓発ポスターを配布する。

## (5) 県委託事業

### ① 健康づくりに携わる人材育成

- ・ 健康情報分析発信事業「健康づくり推進センター HP」の運用  
市町村等の関係者が政策の企画立案や評価等に活用できるよう、県内の健康寿命等の各種健康指標のデータ分析を行い、ホームページ等を通じて情報を発信する。
- ・ 健康増進計画評価支援事業  
計画や事業評価のための評価支援研修会開催や専門職の知見や技術習得のための支援者育成研修会
- ・ 運動指導者育成事業  
運動指導に取り組む指導者育成のための実技を含めた講習会
- ・ 健診・保健指導従事者研修事業  
特定健診・保健指導に係る技術的支援に関する研修会
- ・ 母子保健指導者研修事業  
母子保健活動の向上を図ることを目的とした研修会
- ・ 食生活改善推進員育成事業  
食生活改善推進委員に対する研修会
- ・ 地域健康推進研究事業  
健康づくりに関する調査・研究の成果及び先駆的な取り組みの研究発表

### ② がん検診の精度管理及び受診率向上

- ・ がんに関する調査・分析事業「がんネットみやざき」HPの運用  
県内のがん検診受診率、がんによる死亡者数などがんに関するデータを分析し、ホームページ等を通じて情報発信する。
- ・ がん検診受診促進事業「がん検診受診率向上プロジェクト」  
がんの早期発見を推進し、がんによる死亡者数の減少を図るため、官民協働でがん検診の受診率向上に取り組む。
- ・ ピンクリボン活動の展開  
関係機関との連携のもと、国及び県が推進する乳がん撲滅運動であるピンクリボン活動を積極的に展開し、乳がん検診の受診、早期発見、早期治療の必要性について普及啓発を図る。
  - ピンクリボン活動みやざき実行委員会の運営
  - 患者会（New ピンクリボンの会）の開催（月1回）
  - スポーツイベントでの出展PR等
- ・ 生活習慣病検診管理指導協議会運営事業（胃・肺・乳・子宮・大腸がん）  
生活習慣病の動向を把握し、市町村や検診実施機関の行う検診の精度管理の状況を把握・評価し、専門的な見地から適切な指導を行うことを目的とし、同協議会を設置・運営を行う。（地域保健・健康増進事業報告）